

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
Q 建築物の環境品質									2.5
Q1 室内環境			0.40		-				2.7
1 音環境		1.8	0.15		-				1.8
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-				
1.2 遮音		1.0	0.40		-				
1 開口部遮音性能		1.0	1.00		-				
2 界壁遮音性能			-		-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-				
1.3 吸音		1.0	0.20		-				
2 温熱環境		2.6	0.35		-				2.6
2.1 室温制御		3.1	0.50		-				
1 室温		3.0	0.50		-				
2 外皮性能	各部位のレベルを面積案分にて平均レベルを算出	4.0	0.17		-				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33		-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-				
2.3 空調方式		3.0	0.30		-				
3 光・視環境		3.0	0.25		-				3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50		-				
1 昼光率			-		-				
2 方位別開口			-		-				
3 昼光利用設備		3.0	1.00		-				
3.2 グレア対策			-		-				
1 昼光制御			-		-				
3.3 照度			-		-				
3.4 照明制御		3.0	0.50		-				
4 空気質環境		3.0	0.25		-				3.0
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-				
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用	4.0	1.00		-				
4.2 換気		2.0	0.30		-				
1 換気量		3.0	0.50		-				
2 自然換気性能			-		-				
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50		-				
4.3 運用管理		2.0	0.20		-				
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-				
2 喫煙の制御		1.0	0.50		-				
Q2 サービス性能		-	0.30		-				2.9
1 機能性		2.5	0.40		-				2.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-				
1 広さ・収納性			-		-				
2 高度情報通信設備対応			-		-				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-				
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30		-				
1 広さ感・景観	物販天井高さ3.3m以上	4.0	0.33		-				
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33		-				
3 内装計画		1.0	0.33		-				
1.3 維持管理		2.0	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30		-				2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:タイル貼(30年)、壁・天井:PB:20年	5.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VP(B)、汚水排水VP(B)、雑排水VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		2.0	0.20		-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20		-				
3 電気設備		3.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-				

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1以上0.3未満	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=1.02	1.3	0.20	-	1.3
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.76	3.8	0.50	-	3.8
4 効率的運用				2.0	0.20	-	2.0
集合住宅以外の評価				2.0	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護				2.2	0.20	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	3.0
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			再生クラッシャーラン	3.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体+軽鉄+仕上げのディテール	4.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.3	0.20	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				2.0	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		1.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率78%	3.8	0.33	-	3.8
2 地域環境への配慮				2.3	0.33	-	2.3
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	